

消費者教育イメージマップ高校生期と家庭科との関連

※新学習指導要領（平成29年告示）参照、「基」は家庭基礎、「総」は家庭総合を示す

領域		目標	番号	題材名	「C 持続可能な消費生活・環境」との関連	学習内容「A, B」との関連 ・「Dホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」は、すべて領域で実践できる	公民科との関連～カリキュラムマネジメントの視点～
消費者市民社会の構築	消費がもつ影響力の理解	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済や社会に与える影響を考えよう	1 2 3 4	健康で環境にも配慮した食生活 生涯の健康を見通した食生活 持続可能な食生活 衣服と環境 (指導案1、2、3、4) (ワークシート1、2、3、4)	基C(3) 持続可能なライフスタイルと環境 総C(3) 持続可能なライフスタイルと環境 ・環境負荷の少ない衣食住の生活を工夫する	基B衣食住の生活の自立と設計(1) 食生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(1) 食生活の科学と文化 基B衣食住の生活の自立と設計(2) 衣生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(2) 衣生活の科学と文化 ・環境に配慮した調理実習を行う。	●経済活動の主体(流通) ●環境問題・公害
	持続可能な消費の実践	持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう	5 6 7	環境に配慮した食生活 衣生活をつくる 持続可能な衣生活 (指導案5、6、7) (ワークシート5-1、5-2、6、7)	基C(3) 持続可能なライフスタイルと環境 総C(3) 持続可能なライフスタイルと環境 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫する。	基B衣食住の生活の自立と設計(1) 食生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(1) 食生活の科学と文化 基B衣食住の生活の自立と設計(2) 衣生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(2) 衣生活の科学と文化 ・グリーン・コンシューマーを意識し、環境に配慮した行動を実践する。	●環境問題 ●国際経済(フェアトレード) ●資源エネルギー問題
	消費者の参画・協働	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働して取り組むことの重要性を理解しよう	8	健康で快適な衣生活   (指導案8)	基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・消費行動を通して生産者や事業者、行政などに消費者としての意見を表明するなど適切な意思決定に基づいて行動するとともに、環境や社会への影響を考えて行動する責任があることを理解する。	基B衣食住の生活の自立と設計(2) 衣生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(3) 衣生活の科学と文化 ・着られなくなった衣服の再利用を考え、無駄にしない方法を考える。 ・テルミーの歌、それに合わせた運動などを各校で工夫し、高齢者施設等でのボランティア活動を実施する。	●消費者問題(消費者主権、消費者基本法、クーリングオフ制度、製造物責任法、消費者契約法、金融商品販売法、預金者保護法、消費者庁など)
商品等の安全	商品安全の理解と危険を回避する能力	安全で危険の少ない暮らしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう			基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・自ら進んでその消費生活に必要な情報を収集し、適切な意思決定による消費行動によって意見を表明することなどが消費者の責任であり、権利を行使することにつながることを理解する。	基B衣食住の生活の自立と設計(2) 衣生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(3) 衣生活の科学と文化 ・エンカルフッションについて考える。 ・衣服の管理としてクリーニング店の利用方法を考える。	●現代社会と法(契約自由の原則)
	トラブル対応能力	トラブル解決の法律や制度、相談機関の利用法を知ろう	9	ライフイベントとリスクマネジメント  (指導案9)	基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・消費者保護の仕組みについては、消費者被害の防止や救済について具体的に理解できるようにする。	基B衣食住の生活の自立と設計(2) 衣生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(3) 衣生活の科学と文化 ・環境負荷低減を目指した衣生活の実現に向け、工夫できるようにする。	●租税 ●労働問題 ●社会保障(年金)
生活の管理と契約	選択し、契約することへの理解と考える態度	適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールを活用について理解しよう	10	ライフイベントとリスクマネジメント  (指導案10)	基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・契約の重要性については、売買契約の他に多様な契約があることを理解し、特に未成年・成年の法律上の責任の違いについて理解する。	基B衣食住の生活の自立と設計(3) 住生活と住環境 総B衣食住の生活の科学と文化(4) 住生活の科学と文化 ・経済面を意識しながら賃貸物件を選択し、契約について考える。	●世論と政治参加 ●情報化の進展と生活(メディア・リテラシー)
	生活を設計・管理する能力	主体的に生活設計を立ててみよう 生涯を見通した生活経済の管理や計画を考えよう			基C(1) 生活における経済の計画 総C(2) 生活における経済の計画 ・各ライフステージの特徴と課題、家族構成や収入・支出の変化、生涯の賃金や働き方、社会保障制度などと関連づけながら考える。	基A人の一生と家族・家庭及び福祉(1) 生涯の生活設計 総A人の一生と家族・家庭及び福祉(1) 生涯の生活設計 ・生涯を見通した生活設計をする。	●情報化の進展と生活(情報リテラシー、情報倫理)
情報とメディア	情報の収集・処理・発信能力	情報と情報技術の適切な利用法や、国内だけでなく国際社会との関係を考えよう	11	青年期の住生活   (指導案11)	基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・財・サービスに関する正確な情報を入手するために、生活情報として行政からの情報、企業からの広告、商品やサービスの表示、インターネット情報などを取り上げ、適切に収集・整理ができるようにする。	基A人の一生と家族・家庭及び福祉(1) 生涯の生活設計 総A人の一生と家族・家庭及び福祉(1) 生涯の生活設計 基B衣食住の生活の自立と設計(3) 住生活と住環境 総B衣食住の生活の科学と文化(4) 住生活の科学と文化 ・情報の読み取りとして、実際に学校で公開されている求人票や学校に届く賃貸物件の冊子を利用する。	●情報化の進展と生活(情報リテラシー、情報倫理)
	情報社会のルールや情報モラルの理解	望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう			基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・グローバル化、情報化などの社会変化や、それに伴う販売や流通の多様化、消費者と事業者の情報量の格差など、消費者問題発生時の社会的背景について理解する。	基B衣食住の生活の自立と設計(1) 食生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(1) 食生活の科学と文化 ・食を取り巻く環境の食文化や食の安全性について考察できるようにする。	
	消費生活情報に対する批判的思考力	消費生活情報を評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう			基C(2) 消費行動と意思決定 総C(2) 消費行動と意思決定 ・問題の自覚、情報収集、解決策の比較検討、決定、評価などを取り上げ、消費行動における意思決定の重要性について具体的事例を通して理解する。	基B衣食住の生活の自立と設計(1) 食生活と健康 総B衣食住の生活の科学と文化(1) 食生活の科学と文化 ・健康、安全及び環境などの視点から食生活に関わる情報を適切に判断し、主体的に考えて工夫できるようにする。	